

分 類：医療・社会・行動科学 II

授業科目名：環境と健康（Environment and Health）

対象学年：2 年次必修

時間割コード：71583002

開設学期等：第 22 週～第 25 週（毎週火曜日 1-10 時限）

単位数：1

1. 主任教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

2. 担当教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

奥山 学（准教授、救急・集中治療医学講座、6185）

鄭 松伊（助教、衛生学・公衆衛生学講座、6088）

岩倉 正浩（助教、衛生学・公衆衛生学講座、7032）

富永健一郎（助教、衛生学・公衆衛生学講座、6474）

小松 真吾（非常勤講師、秋田県由利本荘保健所）

永井 伸彦（非常勤講師、秋田県能代保健所）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

臨床現場で必要となる各疾患の病態を習得して診療を実践していくために、社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。国際保健の重要性について学ぶ。

また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM 等について学ぶ。

(3-3,3-4,3-6,3-7,5-5)

【授業の概要】

社会と健康・疾病との関係や地域医療について理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。

関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明できる。

4. 教科書・参考書

NEW 予防医学・公衆衛生学（南江堂、改訂版第 4 版 2018 年）

環境による健康リスク（診断と治療社、2017 年）

国民衛生の動向（厚生統計協会、2025/2026）

シンプル衛生公衆衛生学（南江堂、2025 年度版）

がん情報サービス、循環器病情報サービス等々

公衆衛生がみえる（MEDIC MEDIA、2024-2025）

5. 成績評価の方法

統一試験、形成評価（60%未達の場合は課題を課す）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

最後の日に形成試験を行うので、教科書・配布資料を用いて予習・復習を行うこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9月29日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：秋田県の地域保健行政</p> <p>1. 地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。</p> <p>2. 地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。</p>	小松 真吾	基礎棟第2講義室
2	9月29日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：公衆衛生学概論(1)</p> <p>1. 健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質 QOL、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。</p> <p>2. 社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因 (social determinant of health)）を概説できる。</p>	岩倉 正浩	基礎棟第2講義室
3	9月29日 (火)	5-6 時限	講義	<p>テーマ：公衆衛生学概論(2)</p> <p>疫学研究から考える卒後の医学教育と女性医師問題。</p>	野村 恭子	基礎棟第2講義室
4	9月29日 (火)	7-10 時限	講義	<p>テーマ：学生による学生のためのメンタルヘルス対策</p> <p>友人、知人など近くにいる人のメンタル不全状態にいち早く気づき、必要な対応をとることができるようになる。ゲートキーパー、自死念慮について概説できる。</p>	野村 恭子	基礎棟第2講義室
5	10月6日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：疫学入門(1)</p> <p>根拠に基づいた医療 EBM の5つのステップを列挙できる。</p> <p>研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）を概説できる。</p>	岩倉 正浩	基礎棟第2講義室
6	10月6日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：疫学入門(2)</p> <p>Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome PICO (PECO) を用いた問題の定式化ができる。</p> <p>データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。</p> <p>得られた情報の批判的吟味ができる。</p>	岩倉 正浩	基礎棟第2講義室
7	10月6日 (火)	5-8 時限	講義	<p>テーマ：感染症予防</p> <p>保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。</p> <p>感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。</p> <p>予防接種の意義と現状を説明できる。</p>	永井 伸彦	基礎棟第2講義室
8	10月6日 (火)	9-10 時限	講義	<p>テーマ：社会保障制度</p> <p>日本における社会保障制度を説明できる。</p>	富永健一郎	基礎棟第2講義室
9	10月13日 (火)	1-4 時限	講義	<p>テーマ：災害医療</p> <p>災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム DMAT、災害派遣精神医療チーム DPAT、日本医師会災害医療チーム JMAT、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。</p>	奥山 学	基礎棟第2講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
10	10月13日(火)	5-6時限	講義	テーマ：生活環境と健康 仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。	富永健一郎	基礎棟第2講義室
11	10月13日(火)	7-8時限	講義	テーマ：保険診療について 日本における医療保険制度について説明できる。	富永健一郎	基礎棟第2講義室
12	10月13日(火)	9-10時限	自主学习	テーマ：環境と健康	鄭松伊 岩倉正浩 富永健一郎	基礎棟第2講義室
13	10月20日(火)	1-2時限	講義	テーマ：国際保健 1. 世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患 (non-communicable diseases NCD)、UHC (Universal Health Coverage)、保健システム（医療制度）、保健関連 SDG (Sustainable Development Goals)）を概説できる。 2. 国際保健・医療協力（国際連合 (United Nations UN)、世界保健機関 (World Health Organization WHO)、国際労働機関 (International Labour Organization ILO)、国連合同エイズ計画 (The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS UNAIDS)、世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria GF)、GAVI アライアンス (The Global Alliance for Vaccines and Immunization GAVI)、国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency JICA)、政府開発援助 (Official Development Assistance ODA)、非政府組織 (Non-Governmental Organization NGO)）を列挙し、概説できる。	野村 恭子	基礎棟第2講義室
14	10月20日(火)	3-6時限	講義	テーマ：生物統計入門 1. データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。 2. 主要な確率分布を説明できる。 3. 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。 4. 基本的な仮説検定の構造を説明できる。	野村 恭子	基礎棟第2講義室
15	10月20日(火)	7-8時限	自主学习	テーマ：環境と健康	鄭松伊 岩倉正浩 富永健一郎	基礎棟第2講義室
16	10月20日(火)	9-10時限	形成評価	テーマ：終了時客観試験	野村 恭子 鄭松伊 岩倉正浩 富永健一郎	